

3D EMC Noise Visualization

3次元空間電磁界可視化システム

# WM 9500 narda



## 人体防護測定を、3次元で可視化

人体防護を目的とした低周波磁界測定のための国際標準 Narda S.T.S.社 ELT-400 を使用。  
ICNIRP人体防護ガイドラインとの相対値 (%)・磁束密度 (T) を3次元で色分けして、  
空間上に表示することができます。



## 3次元測定がEMCノイズ測定に革新をもたらす

### —3次元空間電磁界可視化システム「WM9500 narda」誕生

#### 画期的な手法、高精度3D測定

##### —ノイズ発生源を多角的に分析可能

「WM9500 narda」は、モーションキャプチャカメラでELT-400の空間座標を検出することにより、被測定物から放射される空間磁界強度を三次元で色分けして表示することができます。

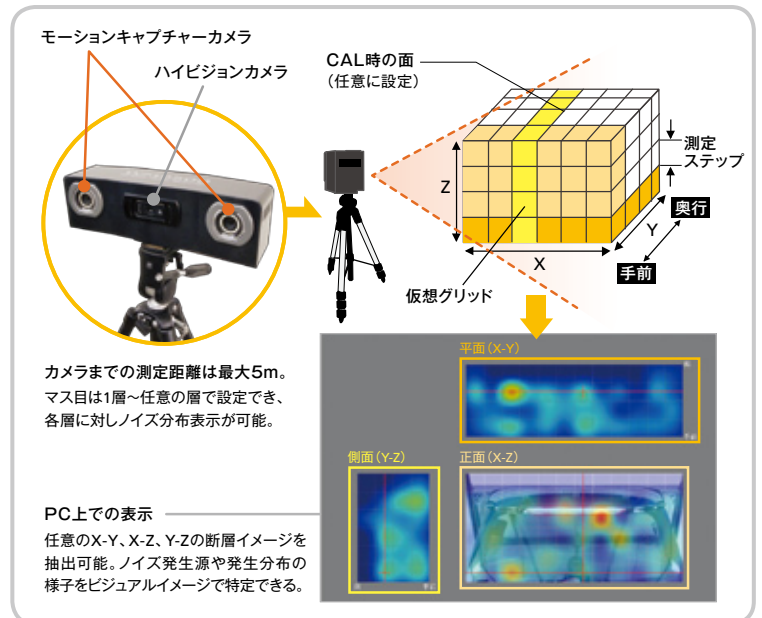
1. 専用の「カメラユニット」を設置。再現性の高いモーションキャプチャカメラの測定エリアを、PC上のハイビジョンカメラ画像で確認しながら決定します。
2. ELT-400を測定したい箇所に当てて赤外線マーカを設定。測定エリアに 1～数10cm<sup>3</sup>の立方体のマス目（メッシュ）を任意に切ることができ、アンテナを移動させるとPCに磁界強度マップが表示・保存されます。これによりノイズの発生場所、放射方向、周波数成分など解析に不可欠なデータを得ることができます。

#### 特長

- ・ELT-400を使用したICNIRP人体防護ラインとの相対評価が可能
- ・モーションキャプチャカメラにより、高い測定再現性を実現
- ・赤外線で座標を認識するため、測定現場の照度や対象物の色の影響を受けない
- ・自動車のエンジンルーム等、狭所や暗所での測定が可能
- ・周波数解析機能により、測定帯域幅を絞った評価が可能

#### 主な仕様

測定範囲	推奨 約0.6m～2m（最大約 5m）、視野角56°
測定方法	赤外線反射式（850nm）による空間座標取得
カメラ	オートフォーカス機能付きハイビジョンカメラ
測定位置精度	±1mm（推奨距離2m時）
測定ピッチ	最少1mm（制御用ソフトウェアの設定で任意設定可）
外観寸法	本体：W400×D109×H124（mm） コントローラ：W320×D280×H94.5（mm）
制御方法	USB2.0
入力電圧	AC100V～AC240V
最大消費電力	60VA（MAX）（解析ユニットは含まず）
センサー	ELT-400（Narda S.T.S.社製）
解析ユニット	7904A-WM9500（営電株式会社製）



#### WM9500 narda システム構成

